

# 行動規範論 II

科目ナンバリング PHE-104  
【II】 選択 2単位

後藤 玲子

## 1. 授業の概要(ねらい)

正義原理は複数の価値をさまざまなウエイトでバランス付ける基本ルールを指す。そもそもどのような価値をバランス付けるべきなのか、それらをどのようなウエイトでバランス付けるべきなのか、を考察するために、2つの自由・多様性・差異の平等・衡平性・尊厳などの概念について学ぶ。

## 2. 授業の到達目標

行動規範論IIについて、本講義は、経済哲学・政治哲学の読解を通じて、〈正義〉と〈経済〉に関するわたしたちの直観や常識を批判的・総合的にとらえ返すことを目的とします。講義中のノートをしっかりとれること。

## 3. 成績評価の方法および基準

期末試験・小レポート・ノート(授業の内容を各人ノートしてください。ときどき集めて見ます)

## 4. 教科書・参考文献

参考文献  
後藤玲子  
鈴木興太郎・後藤玲子 『潜在能力アプローチ』  
アマルティア・セン—経済学と倫理学 岩波書店  
実教出版

## 5. 準備学修の内容

## 6. その他履修上の注意事項

## 7. 授業内容

- 【第1回】 ジョン・ロールズとアマルティア・センについて
- 【第2回】 衡平性と効率性について
- 【第3回】 所得アプローチ:財と所得と資源をいかに分配するか
- 【第4回】 機能アプローチ:行い(doing)/在りよう(being)をどのように実現するのか
- 【第5回】 効用アプローチ:快苦と願望と慎慮をどんな風に享受するのか
- 【第6回】 自立と自律について
- 【第7回】 消極的自由と積極的自由について
- 【第8回】 機会の平等と結果の平等について
- 【第9回】 人間の尊厳と個人の尊厳について
- 【第10回】 小括・質疑・ディスカッション
- 【第11回】 福祉的自由への権利
- 【第12回】 人権について
- 【第13回】 ルソー・ヒューム・ゲーム理論の哲学
- 【第14回】 ケイパビリティにもとづく社会的選択
- 【第15回】 総括・討議